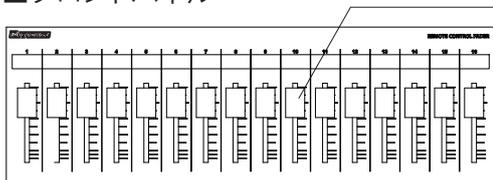


LFシリーズの特徴

LF16BLU-PoEはBSS AUDIO社のBLUシリーズのミキシング機能の一部をコントロールすることが可能な設備用フェーダーユニットです。誤操作などを避けるため、ON/OFFスイッチや設定ボタンなどを搭載しておりませんので宴会場や会議室など、専任オペレータがいない場所でも簡単に扱うことができます。また、IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。

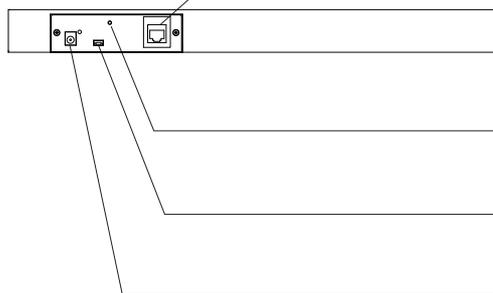
■フロントパネル



フェーダー

16ch分のボリュームをコントロールできます。
本製品はBLUの通信プロトコルを使用しており、BLU内部のProcessing ObjectsのGain N-Inputをコントロールします。
設定方法に関してはマニュアルのP2をご参照ください。

■リアパネル



RJ45端子(PoE対応)

BLUのコントロールデータを出力します。
IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。
配線にはCAT5e以上のLANケーブルをご使用ください。

M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

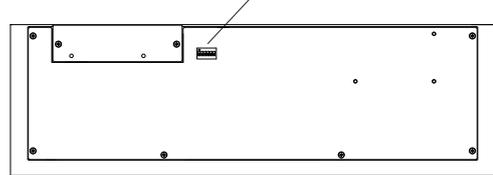
USB端子

ファームウェアアップデート用です。使用しないで下さい。

DC IN端子

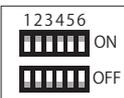
接続機器がPoE給電非対応の場合は、付属品のACアダプターを接続してください。
※PoE給電を受けている場合は、ACアダプターを接続しないでください。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

- ・LF16BLU-PoEとBLUシリーズを1対1で接続する場合、全てのDIPスイッチをOFFに設定してください。
- ・1台のBLUシリーズに対してLF16BLU-PoEを複数台接続する場合、DIPスイッチの設定が必要となります。設定方法はP4をご参照ください。※複数台での接続は4台まで動作確認をしております。



IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF16BLU-PoEのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。
初期設定でIPアドレス192.168.0.2のBLUシリーズをコントロールすることができます。
LF16BLU-PoEのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のBLUシリーズのIPアドレスを変更した場合は同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

仕様

出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
PoE受電	:IEEE802.3af
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:1023
電源電圧	:9V / 0.3A
付属品	:ACアダプター
塗装	:半艶黒
サイズ	:W410×D132×H36
重量	:2.2kg

Audio Architectの設定方法

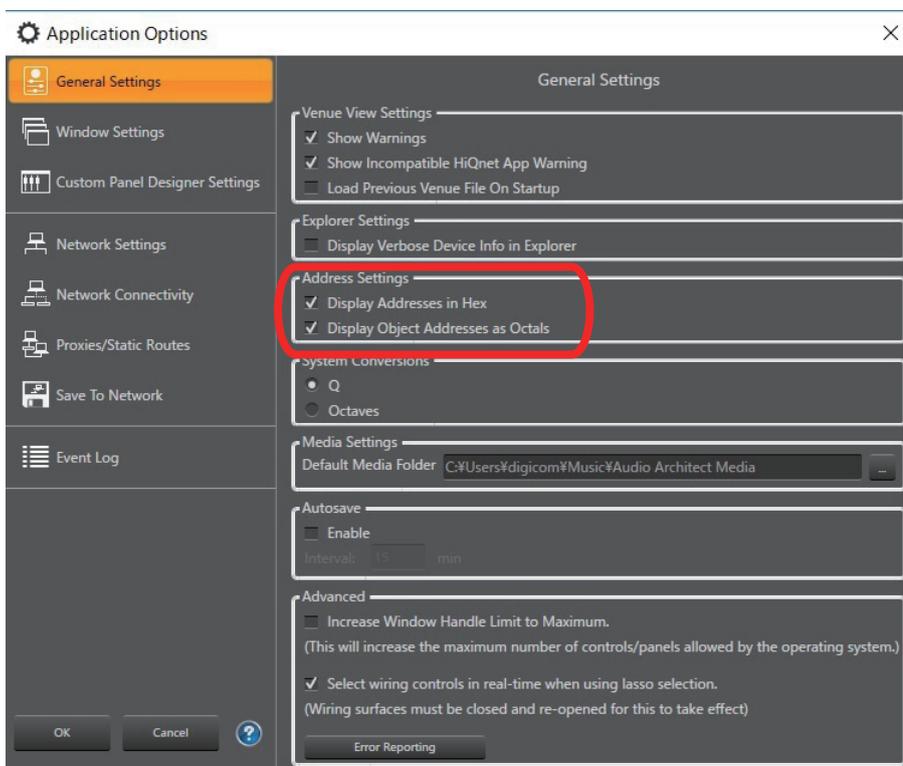
※本マニュアルはソフトウェアバージョン 2.10.0での設定方法となります。
動作検証済みソフトウェアバージョン:1.96.0 2.10.0 2.15.0 2.55.3

■BLU本体のIPアドレスを設定する

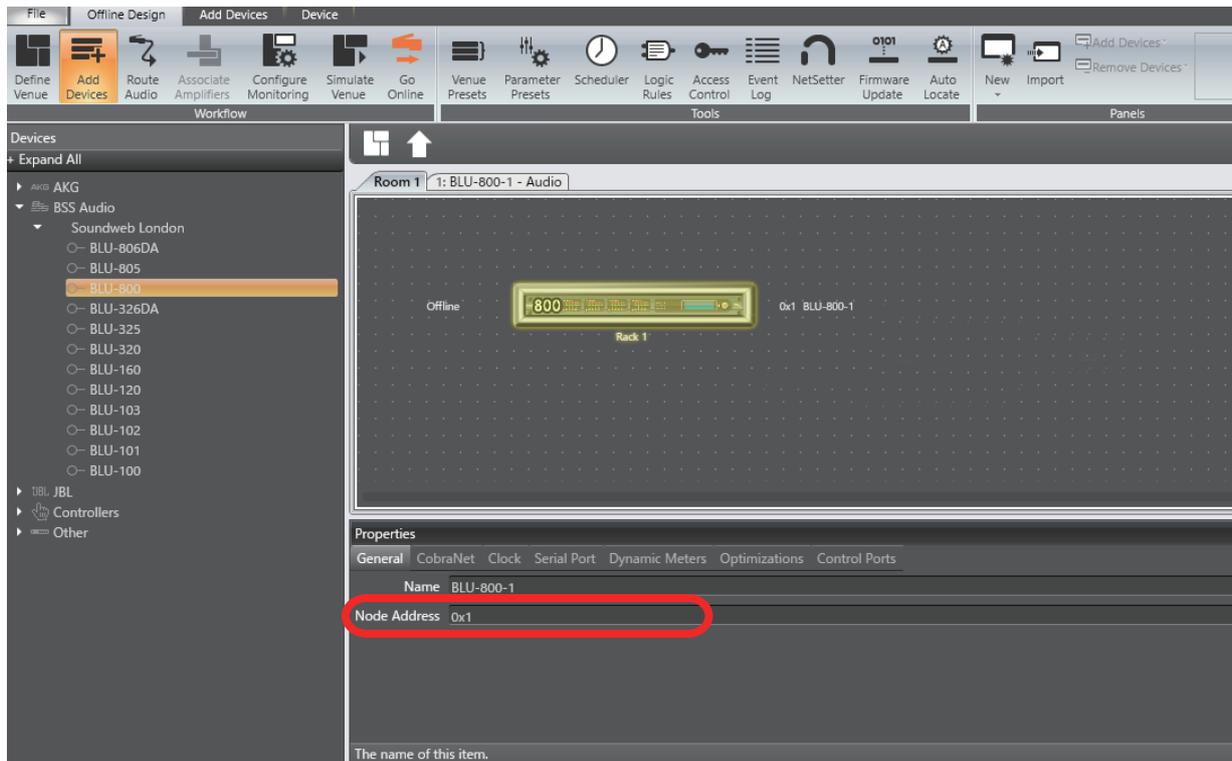
- ①AudioArchitectを開きHiQnet NetsetterよりコントロールしたいBLUのDHCP/AUTO IPのチェックをはずしIPアドレスを192.168.0.2, SUBNET MASKを255.255.255.0, DEFAULT GATEWAYを0.0.0.0に設定します。
※IPアドレス192.168.0.2以外のBLUをコントロールする場合LF-BLUのネットワーク設定を変更しなければなりません。
変更される際は同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。



- ②FileタブからApplication Optionsを選択し、General SettingsタブのAddress Settingsの項目のDisplay Addresses in HexとDisplay Object Addresses as Octalsにチェックをいれます。

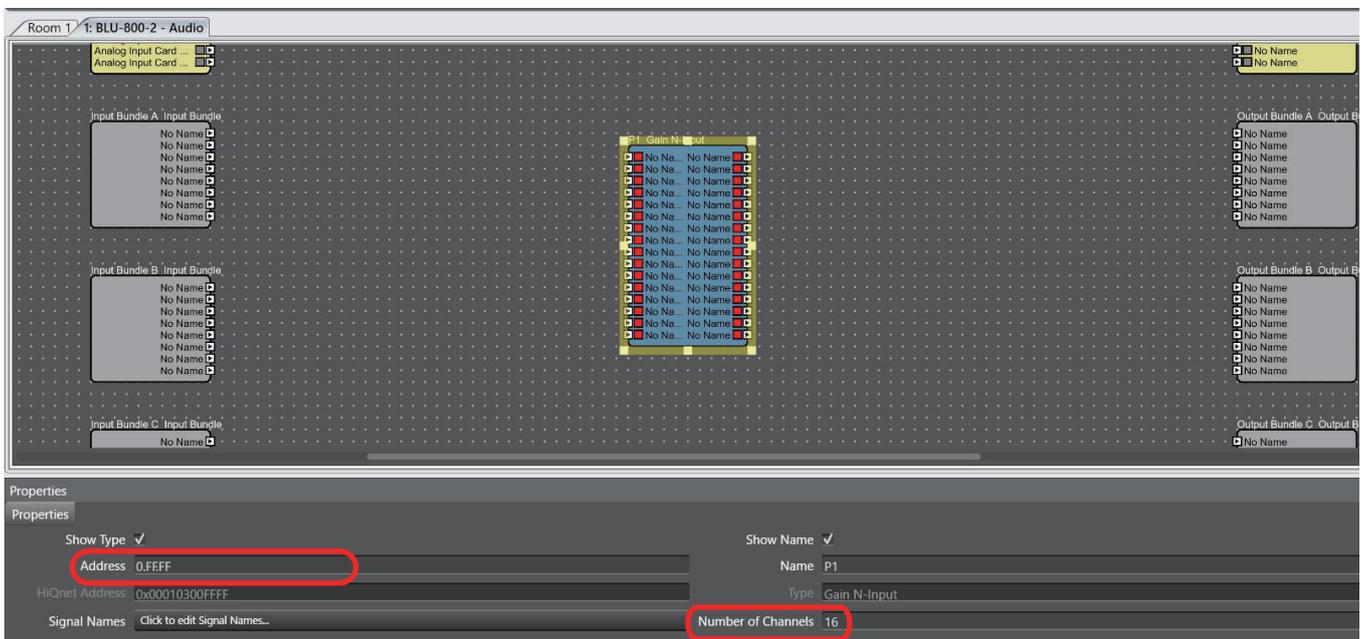


③コントロールしたいデバイスを選択し、Node Addressを以下のように設定します。



④Gain N-Inputを配置し、Number of ChannelsをLF08BLUの場合は8、LF16BLUの場合は16、LF24BLUの場合は24にします。更にAddressを0.FF.FFに設定してください。

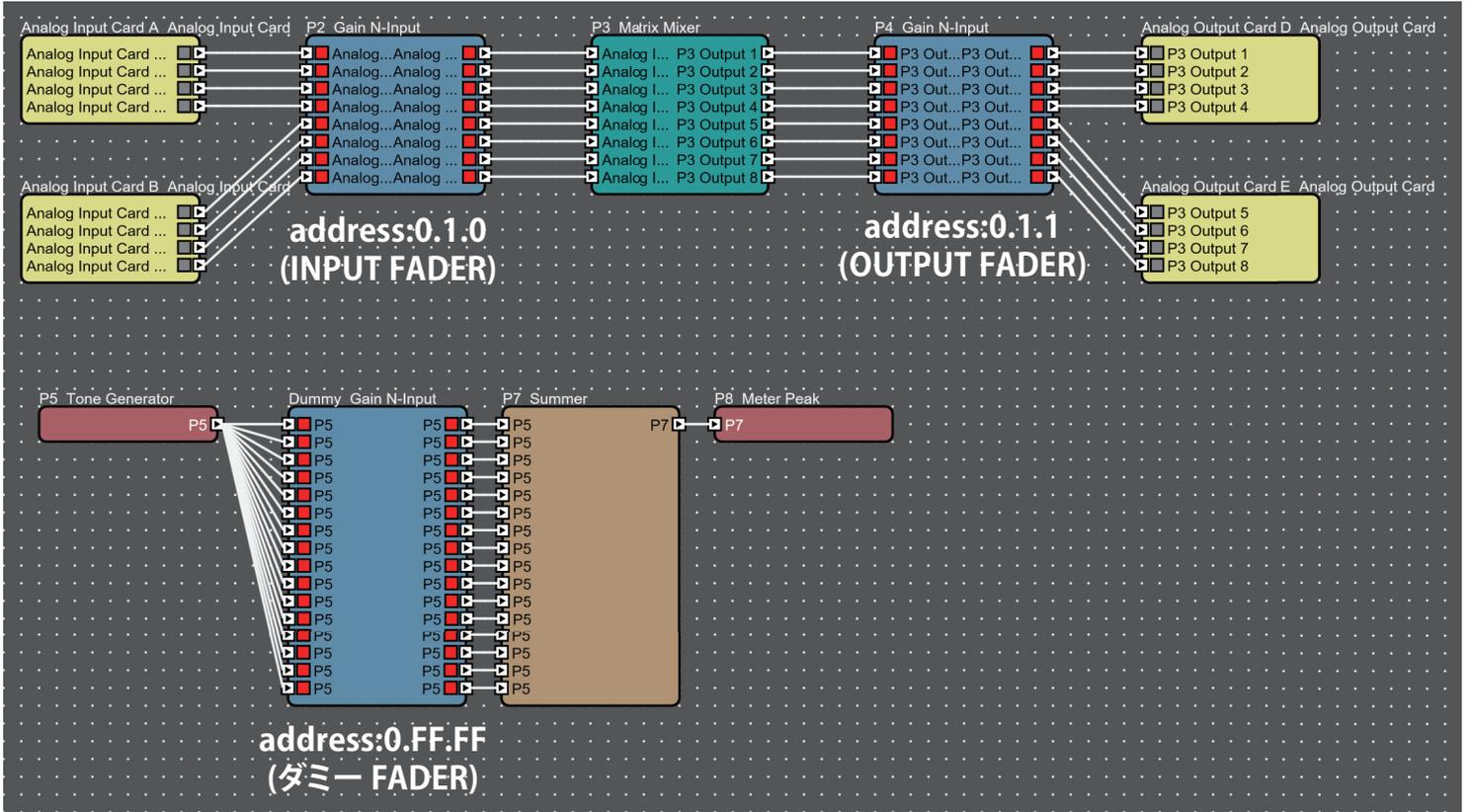
注意: Gain N-Input以外のオブジェクトのAddressを0.FF.FFに設定すると誤動作の原因になりますのでお気を付けてください。



LF-BLUをうまく活用する方法

Parameter Linkを使用する

LF-BLUシリーズはAddressを0.FF.FFに設定したGain N-Inputしかコントロール出来ませんが、Parameter Linkを使用することで複数のオブジェクトをコントロールできます。



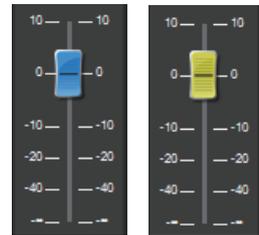
上図のようにアドレスを設定し、ダミーFADERの1chにはINPUT FADERの1chをリンク、ダミーFADERの2chにはOUTPUT FADERの1chをリンクすることにより、1台のLF-BLUで2つのオブジェクトをコントロールすることができます。

- 注意
- ひとつのフェーダーに対して複数のフェーダーをリンクできますが、5本以上のフェーダーをリンクをすると、音声処理が重くなります。5本以上のフェーダーを操作する場合はMIXERやMatrix等でチャンネルをまとめた上で、リンクを組むことをお勧めします。
 - ダミーFADERを作成する際、入出力の設定を行わないとコンパイルエラーが発生します。通常の音声に影響を与えないよう、上図を参考にIN/OUTを接続してください。

Gain N-InputにParameter Link可能なオブジェクトはMixer/Gainsの中にある

- Automixer Gain Sharing
- Automixer Gated
- Gain
- Gain N-Input
- Gain Timed
- Mixer

以上6項目のINPUTフェーダー/OUTPUTフェーダーのみとなります。



1台のBLUに対して、複数台のLF16BLU-PoEを使用する場合

1台のBLUに対して、複数台のLF16BLU-PoEを使用する場合、DIPスイッチの設定が必要となります。DIPスイッチの設定により、制御Addressを変更することで、対応したGain N-Inputを操作することができます。また、フェーダーのIPアドレスも変更する必要があります。フェーダーのIPアドレスを変更する方法については、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

■DIPスイッチ設定

DIPスイッチを設定することで、Gain N-Input の制御Addressを変更することができます。

1 2 3 4 5 6	制御Address
	0.FF.FF
	0.FF.FE
	0.FF.FD
	0.FF.FC
	0.FF.FB
	0.FF.FA
	0.FF.F9

※注意 誤動作の原因になりますので、以下の点にお気を付けてください。

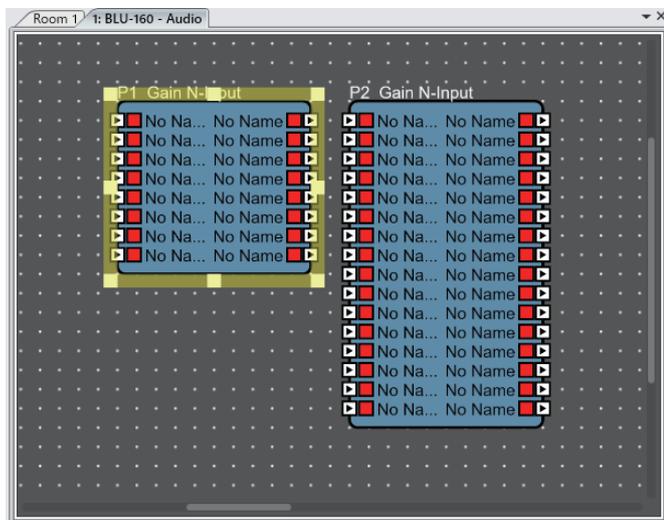
- Gain N-Input以外のオブジェクトに一覧の制御Addressを設定しないでください。
- 複数台のフェーダーに同じDIPスイッチの設定をしないでください。

■複数台のLF-BLUを使用する場合の、Gain N-Inputの設定方法

例) 1台のBLUに対し、LF08BLUを1台、LF16BLUを1台接続する場合
Gain N-Inputを配置し、Number of ChannelsとAddressをそれぞれ設定します。

①LF08BLUの設定

Address:「0.FF.FF」
Number of Channels:「8」
DIPスイッチ:全OFF



Properties

Show Type Show Name

Address 0.FFFF

Name P1

HiQnet Address 0x00010300FFFF

Type Gain N-Input

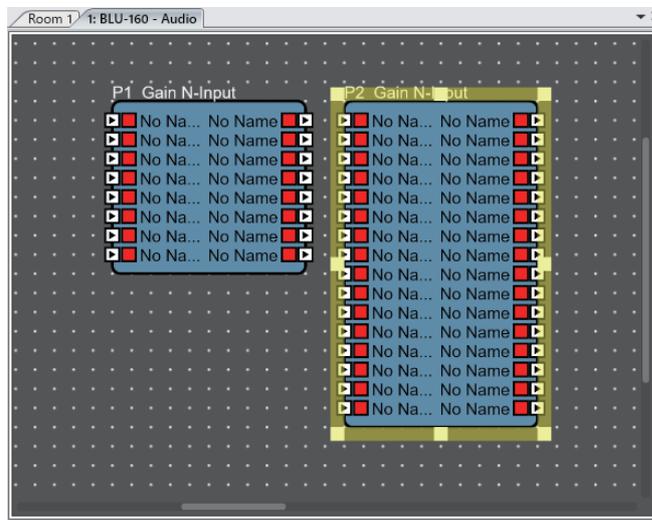
Signal Names Click to edit Signal Names... Number of Channels 8

Show or hide the type string from the object.

Properties Compiler Report BLU Link Bus

②LF16BLUの設定

Address:「0.FF.FE」
Number of Channels:「16」
DIPスイッチ1のみON



Properties

Show Type Show Name

Address 0.FFFE

Name P2

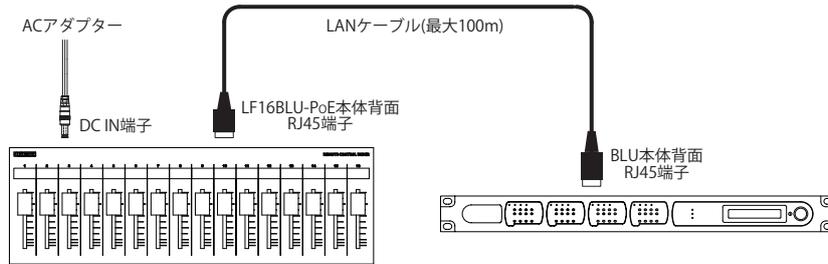
HiQnet Address 0x00010300FFFF

Type Gain N-Input

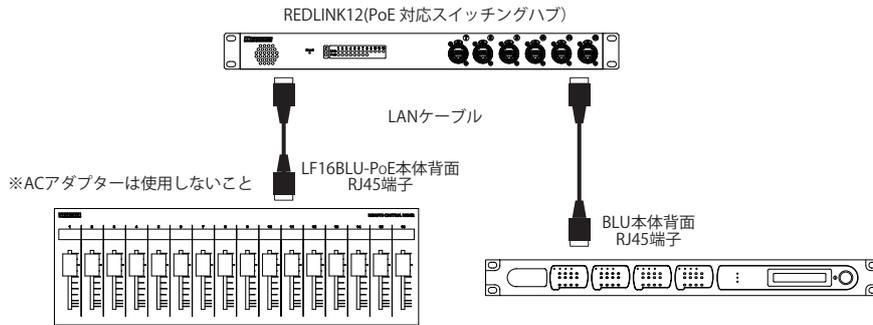
Signal Names Click to edit Signal Names... Number of Channels 16

Properties Compiler Report BLU Link Bus

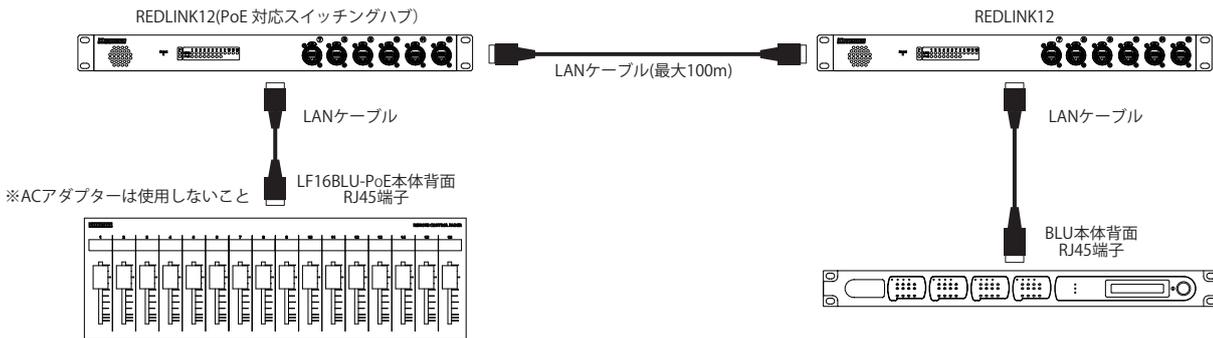
■基本接続



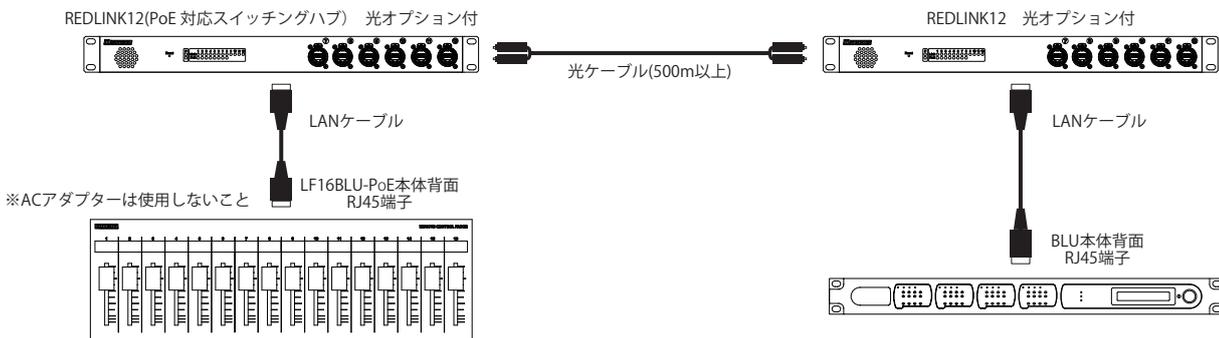
■スイッチングハブを使用した基本接続① (LANケーブル)



■スイッチングハブを使用した基本接続② (LANケーブル)



■スイッチングハブを使用した基本接続③ (光ケーブル)



■商品に関する注意事項

持ち運ぶ際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
 水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
 海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
 ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
 機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
 D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
 万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されておりますので、保証書は添付されておられません。
 万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
 また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社Digicom

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15

TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386

E-Mail:info@e-digicom.co.jp

http://e-digicom.co.jp/